

PTA会報

第39号(2008年7月25日)
東海大学山形高等学校
PTA
山形市蔵王成沢西3-4-5
TEL(023)688-3022

子育ての「とき」を 贅沢に楽しむ

東海大学山形高等学校PTA会長 兼 子圭一



兼子圭一会長

今年度、伝統ある東海大学山形高校PTA会長をお引き受けし、身の引き締まる思いをしております。
高校三年間は、子育て最後のときです。卒業後は、きままな遊星のように飛び去っていきます。その健全な成長のためにも、私達保護者は先生方との共同連携作業が大切だと思います。学校行事のみならず、ちよつとした相談事にもすすんで学校に足を運ぶようにしようではありませんか。ここまでの子育てに苦労は尽きなかったけれど、それを

勘案して余りある豊かな時間と出来事子どもたちから与えられてきたと思います。その意味で、私達保護者もこの貴重な「とき」に立ち会えるという贅沢を楽しんで努力していこうではありませんか。
適切な教育環境の維持向上のためには、それなりの資金が必要で、二年ほど前より私学への助成金の対応が大きく変化しております。この私学助成金の関係上(より良い教育環境充実のために)、皆様にも具体的な行動依頼をお願いすることもあるかと思っております。どうかご支援ご協力をお願いします。おわりに本校の発展にご尽力を頂いております理事長はじめ教職員各位、同窓会の皆様方に敬意を表しますとともに、今後一層のご指導、ご理解、ご協力をお願いします。上げまして、挨拶いたします。

3年4組のクラス懇談会

三年四組のクラス懇談会が七月十二日、山形市内『くいもの屋わん』で行われました。当日は開店二周年記念ということで、予定していた会費よりも安く、参加者は笑顔で席に着きました。お店の情報を寄せてくれた文化研修委員の五十嵐さんに感謝！

今回の企画は文化研修部長の阿部さんの発案で実施され、この日、天童市で行われた第三回市民講座に参加した後にクラスの保護者が集まり、受験生の夏休みの過ごし方について語り合いました。保護者と、岡田学年主任、担任とで、子供達の近況報告や、市民講座の話、前日に開幕した高校野球の話などで盛り上がり、和やかな会となりました。

参加者は一致団結し、子供達をサポートし、これから迎える受験を乗り越えていこうと誓い合いました。



一致団結!3年4組

【紙面紹介】

- 1面 PTA会長のこぼれ話
クラス懇談会
市民講座
- 2面 成田校長のこぼれ話
PTA環境班活動
- 3面 女子バレーボール部
保護者会
- 4面 建学祭バザー
協力お願い
私学助成署名運動
のお願い
編集後記

第三回市民講座 「最近の若者の悩みと親の対応」 講師/山崎 晃資氏(白鳥大学教授)



山崎晃資氏

今年度より、長年行っていた地区支部活動の発展的行事として市民講座現代文明論が開かれております。その第三回目(七月十二日(土))に開催されました。自分の子供が何を考えているのかわからなくなる時はないでしょうか。昔のように子供同士のふれあい越来越少なくなったり、脳の成熟に悪い環境・社会問題等が増えて、社会ルールが身に付いていない若者が増えていきます。社会・親・友人・学校に対する不満等、思い通りにならない事を合理化して他人のせいにして、暴力に発展する事件が報じられています。今回の講座では、そんな若者にどう接したらよいかを中心に、いろいろな事を吸収するこの時期、一対一で本気で話せば外見とは違う一面があることなどをお聞きしました。また、子供を信じる事の大切さや、子供は信じるに足るべき存在だという事、そして親として子供に教えていかなければならぬ事などを伺いました。本当に為になるお話でした。子育てとは、子供時代を生き直す事だそう。子供と共にいる事を楽しみましょう。



熱心に聞き入る参加者

迷いながら成長する 子供たち

東海大学山形高等学校
校長 成田 吏つかさ



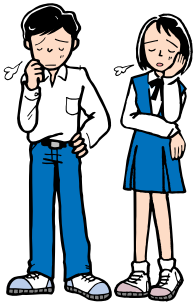
成田吏校長先生

付属推薦の面接が終了しました。自分の将来について、明確な希望を話せる諸君には敬服します。

一方で「進路は学びながら考えます。」「今は分かりません。」という生徒も多くあります。このような諸君に、「小学校や中学校時代には夢を持っていたでしょう？」と尋ねますと、サッカーの選手、プロ野球の選手、消防士、警察官、お医者さん、宇宙飛行士等々出てきます。

それが、成長するに従い、自分の実力を評価できるようになり、社会の動きも見えてきて、自信喪失・不安先行の状態に陥り、「迷いの時間」に突入してしまうのです。

しかし、大人も迷いながら成長してきました。次の文章をお子さん達と一緒に読んで「迷い」について家族会議を開いてみてください。
<small>い。</small>



道に迷えば 道を覚える

永崎 一則

人間だから失敗することもある。要は、その受け方。生かし方にかかっている。道に迷えば道を覚える。



神ならぬ人の身、長い人生を歩むうちに、人間は多くの失敗をしでかす。

人生そのものが試行錯誤の過程といつてよい。

それをどう受けとめ、どう生かすか、その人の心がけによって、その失敗の教訓がプラスにもなれば、マイナスにもなる。

「失敗は成功の母」という言葉があるが、そのように出来れば、世の中のすべてはプラスに変貌することになる。

心がけ一つで、学べきものは手のとどくところにいくらでもある。それに気づかないだけのことだ。

〈永崎一則さんのプロフィール〉

話力総合研究所所長
大正15年6月9日生まれ・鹿兒島県出身
昭和20年より話の研究に入る。言論科学研究所、東海大学広報学科講師、警察大学校などを経て、現在の話力総合研究所を設立し、所長に就任。著書に「人を育てるほめ方・叱り方」「人を動かす説得力」など。

心で植えた 美の花壇



お父さんもガンバってまーす

7月13日(日)環境班の保護者14名と先生方で、新しく出来た正門付近を飾るプランターづくりを行いました。“花のひこうき”の社長を講師に迎え、ゴールドクレスト・ダンタナ・ドラゴンなど12種類、150株の中から各自のセンスで花を選び、20個のプランターと8個の壁掛けが完成しました。日差しが強い中でしたが、和やかな雰囲気の中で花が植えられ正門前に配置。正門付近がとてもきれいになりました。今後は生徒達が花の水掛けをしてくれるということです。是非、環境班の植えた花をご覧になって下さい。次の花の入れ替えは、春に綺麗な花が咲くよう秋に行う予定です。



正門前に飾りました



センスがとわれた花選び!



環境班一同で笑顔の完成



完成までもう少しだ!



女子バレーボール部保護者会 会長

三沢 清



三沢会長

女子バレー部は現在二年生八名、一年生三名の計十一名で活動しております。三年生が居ない為、他校との試合では、力の差を感じてしましますが、二年後、力をつけた生徒達の活躍を期待したいと思っております。さて、スポーツとは「心・技・体」と思われがちですが、私はスポーツに限らず「挨拶」が基本ではないかと思えます。

挨拶と言えば、野球部!!こちらがはずかしくなる程、丁寧に挨拶をしてくれます。「さすが!!」甲子園常連。あたり前な事を出来ると言う事が大事ではないかと思えます。

女子バレー部は、まだ発展途上にあります。あたり前の事が出来れば、自然にバレーに対する心構えが出来、仲間との連帯感、自分の責任感が生まれて充実した活動になればと思います。

保護者の思いは、勝負よりも一戦、一プレーを、力の限りボールを追う子供達の姿を目に焼き付けたいと願っております。

女子バレーボール部顧問 桜井孝司先生への インタビュー

現在の女子バレーボール部の様子を教えてください。

部員数は、二年生八名、一年生三名の計十一名です。基本的には、本校の第一体育館を使用し、毎日練習を行っています。人数が少ない分、練習を工夫しながらやっています。生徒は明るく、元気に取り組んでいます。

今年度の成績を教えてください。

山形県高校総体では、二回戦で新庄神室産業高校に敗れました。体育館に慣れる間に試合が終わってしまい、本来の力を発揮することができずに悔しい思いをしました。

今後の大会の予定を教えてください。

七月二十六日、二十七日に本校で行われる山形県私学バレーボール大会と、八月に東海大学湘南校舎で行われる学園オリンピックです。

今年の私学大会の展望はどですか。

一、二年生の若いチームで各校の三年生を中心とした最強チームと戦うわけですので、苦戦は覚悟しています。昨年は、代表決定戦で敗れ、惜しくも東北大会に出場することはできませんでしたが、五位と健闘しました。今年は、本校が会場ということもあり、強豪校に全力でぶつか

て行きたいと思えます。バレーボールの魅力は何ですか。

元々、重力に逆らっているスポーツですので、ボールは必ず落ちるものですが、それを落とさないように全員が繋いでいくところに魅力があると思います。仲間のミス仲間がフォローする。一発勝負の男子と違い、女子の場合は、ラリーが続く事が多く、本来のバレーボール「排球」の姿だと思えます。

現在の目標を教えてください。

中学時代に目立った実績を持って入学してきた生徒は一人もいない現状で平均身長も低いチームですが、これから伸びる要素はたくさんあると思います。普通のバレーボールをやっても勝算は低いので、小さいなりの速いバレーを展開していければと考えています。高



全員集合! 試合で指示する 桜井監督



ガンバレ 東海女子バレー!



勝負だ!

ブロックで止めろ!



い目標が必要ですが、上だけ見て足元が崩れたのでは話にならないので、まずは、土台をしっかり固めて、一つ一つの試合を勝ち抜いていく事が当面の目標です。また、技術の上は勿論ですが、バレーボールを通して、人間形成を行う事が最も大切だと考えています。

生徒へのメッセージをお願いします。

これからは、同学年同士の戦いが始まります。結果は、どんな大会でも付いてきます。結果が出てから悔やんでも遅い。やるべき事を確実に、行い、明るく、楽しく、そして厳しく頑張ってください。



▲「いっぱい買ってってけっらしい」

建学祭バザー出品大募集

ご自慢のハンドメイド品や日用品などetc...

PTAでは、毎年、建学祭の一般公開日に、学校の西門を入ったところ西側のスペースをお借りして、「バザー」を開催します。各家庭で不要になった品物を寄贈していただき、バザーの収益金を学校に寄付し、これまで備品購入の代金として活用していただきました。今年も是非、皆様に品物の提供をお願いいたします。新しいものなら、タオル、衣類、日用品何でも結構ですので、是非三者面談時または担任の家庭訪問時などを通して学校までお寄せ下さい。生徒を通してお届け下さっても結構です。なお今年の建学祭は10月18日(土)ですので、夏休み明けから9月中にお届け下さい。

私学助成署名運動のお願い

私立学校では、すべての子どもたちが経済的な心配をせずに進学したい学校を選び、安心して学べる教育環境をつくるために、毎年私学助成署名運動を実施しています。

「私学助成」とは、国や都道府県が、私立学校やその学校に通う生徒の保護者に行う金銭的補助制度のことです。現状としては十分な保障は得られておりません。結果として保護者に多大な経済的負担が強いられています。その負担軽減のためにと私学の教育改善のために補助金を増やしてもらうことが必要です。

本校では、署名用紙を夏休み中の家庭訪問や三者面談の際に担任の先生より配布されます。多数の署名をよろしくお願ひします。

今年より各学年の後期の総会を十月に予定しております。皆様の参加をよろしくお願ひします。

第二回PTA学年総会 (十月)のお知らせ

今年度から、広報誌として「みのり」が発刊されています。学校からの大事な連絡やお願い、また、生徒たちの学校生活の様子などが掲載されています。毎回家庭に郵送されますので、ぜひご覧いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。学校のホームページでもご覧頂けます。

学校報「みのり」を 「」覧ください！



「街頭署名運動の様子です」



智恵を絞っての編集作業

環境広報部広報班長
東海林 智恵子

今年度は、法人名が「二橋学園」から「東海山形学園」に変更になり、新しい出発の年です。学校報「みのり」の発行・学校行事・市民講座等、新しい試みが始まりました。また、昨年までの広報部が環境広報部と名称が変わり、環境班・広報班と二班に分かれて活動を開始しました。PTA会報第三十九号にも新たな内容が盛り込まれています。会報発行に際し、PTA会長・校長先生・諸先生方・保護者の皆様からたくさんの方の寄稿とご協力を頂けた事に、この発行の場をおかりして御礼申し上げます。広報班の皆様、お忙しい中ご苦労様でした。後期発行の際も宜しくお願ひします。

編集後記